

## 第2回日本語教師のためのリベラルアーツ入門

日時 2021年10月13日(水) 10時-12時30分(UTC+2)

※日本時間 17時-19時30分

**概要** 日本語教育以外の分野で活躍されている方を講師にお招きし、創造の源となるリベラルアーツに関する鼎談と質疑応答を行います。家事や育児、仕事といった私たちの生活と切り離せない営みとは別に、私たちは本を読んだり、ゲームをしたり、庭造りに精を出したりします。また旅行に出かけたり、SNSやブログに言葉を書きつけたりします。ひと時のあいだ日常から離れ、未知なるものに出会いに行くという意味において、それらは「旅」とみなすことができるかもしれません。自然と人為の関りについて、庭と教育の重なりについて、なぜ書くのかということについて、この惑星を水平垂直に旅し、書物と言葉の森に分け入り、制作と思索を行き来する講師たちと共に考えてみませんか。

いしかわなおき  
**講師 石川直樹氏**

1977年東京生まれ。写真家。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。2010年『CORONA』（青土社）により土門拳賞、2020年『まればと』（小学館）、『EVEREST』（CCCメディアハウス）により日本写真協会賞作家賞受賞。著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』（集英社）ほか多数。

やまうちともき  
**講師 山内朋樹氏**

1978年兵庫県生まれ。京都教育大学准教授。専門は美学。庭師。フランスの庭師ジル・クレマンの研究、庭園や都市のフィールドワーク研究を軸に、現代の庭の可能性を理論と実践の両面から探求している。共著に『ライティングの哲学』（星海社）、訳書にジル・クレマン『動いている庭』（みすず書房）。フィルムアート社、書肆侃侃房より庭園論を刊行予定。

やまもとたかみつ  
**講師 山本貴光氏**

慶應義塾大学環境情報学部卒業後、コーエーにてゲーム開発に従事。10年ほどゲームをつくった後、フリーランスとして文筆、翻訳に携わりながら、専門学校や大学でゲーム制作、プログラム、映像文化論、人工知能論などを教える。立命館大学大学院講師を経て、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授。哲学の講義を担当している。著書に『「百学連環」を読む』（三省堂）ほか。

**対象** 日本語教師、日本語教育関係者（参加地域は問いません）

**定員** 80名（要事前申込、先着順）

**形式** ZOOMクラウドミーティングによる鼎談と質疑応答。使用言語は日本語。

**参加費** 無料（参加証は発行しません）

**申込み** 下記のリンクかQRコードから申込フォームにアクセスしてください。

<https://forms.office.com/r/wP8e6mEQsi>

定員に達し次第、申込みを締め切ります。

**公開** 後日、録画を一般公開します。セミナーへの参加には映像の肖像利用に関する同意が必要です。

**問合せ** [scuola@jfroma.org](mailto:scuola@jfroma.org)

